

令和4年度 第1回教育委員会議事録

日 時 令和4年4月22日（金） 13時30分～14時45分

場 所 尾鷲市教育委員会 3F

議 題

報告事項

- （1）令和4年度教育推進の重点について

審議事項

- （1）令和4年第3回臨時会 尾鷲市一般会計補正予算（第2号）（案）
について（教育総務課）
（2）学校運営協議会の指定と委員推薦について

出席者

教育長	出口 隆久
委員（教育長職務代理者）	森下 龍美
委員	北裏 佳代
委員	大門 利江子
委員	田中 利保

出席事務局職員

教育総務課長	森下 陽之
教育総務課調整監	高田 秀哉
生涯学習課長	平山 始
教育総務課総務係長	柳瀬 誠

13:30 開会

教育長：それでは令和4年度第1回教育委員会を開催いたします。事項書に沿って進めたいと思います。2番の前回会議録署名委員は、A委員とB委員でございました。今回の会議録署名委員は、B委員とC委員でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。4番の教育長報告に入りたいと思いますが、教育長報告にはございませんが、コロナの話を少しさせていただきたいと思います。4月の感染者数の状況につきまして、1日以降は21日までで本市の感染者数は70名くらい、そのうち10歳未満、10代で確か27名で、割合を取ると40%弱になり、依然として若年層と言いますか、10歳未満、10代の感染率が高くなっています。この間尾鷲小学校も臨時休校とさせていただき、比較的落ち着いた状況になっているんじゃないかと考えています。入学式以降なんですけど、みなさんご承知のとおり、小学校の先生が感染したということから始まりまして、そのときは検査対象者はないということだったんですが、教員というのは子どもたちの前に立って、いろいろとお話をするのがございますので、2日間学級閉鎖をさせていただいたということでございます。そして、その後また別の教員が1人出たということで、合計3名の先生方が感染されたということで、やはり教員で、子どもたちと接する機会が非常に多いということで、この時は月曜日から金曜日までの5日間、尾鷲小学校を臨時休校にしたということがございます。その間に感染状況の把握をさせていただき、休校中に複数名の児童の感染があったということで、これは休校中でしたので、特に対応することはなかったんですが、何人かの感染があったということでございます。小学校では週明けから再開いたしまして、18日、19日は念のためお昼までで、食事の時間が一番気になるということで2日間終わらせていただき、20日の水曜日から平常授業とさせていただきました。中学校につきましても、やはり感染者が1人あったということで、1日だけ様子を見るため学級閉鎖とさせていただきました。その後新たな感染者は出ていなかったんですが、昨日1人感染した生徒がございました。ここも複数の検査対象者がいましたので、本日1日学級閉鎖とさせていただいております。報告が遅れて申し訳なかったんですが、本日閉鎖をしているということでございます。現在の状況としては、今言ったように若い層が随分出ているんですが、今出ているのは学級が特定されているとか、特にそこに固まっているような状況ではなくて、いろんな学級で

出てきておりますし、もう一つはどんなふうに感染していったかということが今の情報の中では掴めていない、掴むことが難しい状況ですので、これから先の見通しもなかなかわかりにくいということになってまいります。このような状況の中で、教育委員会としてどう対応したかというのは、学校は今の説明のとおりですが、一つは、学校の体育館を夜間開放しております。その夜間開放については、その週を全部閉じることにしまして、4月17日の日曜日まで閉じました。その明けからは感染者もあまり出ていなかったのも、今現在は開放しております。尾鷲小学校で5日間閉めた中で、子どもをみることができない家庭がございましたので、低学年児童については学校でお預かりするという事で、お昼までなんですけども、だいたい毎日10名前後の子どもさんが学校に来ていました。中学校の部活動も日曜日まで中止させていただいて、現在は平常どおり部活動を実施しているということでございます。このような状況で、学校におきましては、やはり今までどおりの感染対策をしっかりとやるということ以外にないと思いますので、それを改めて徹底していただくように学校には指示をいたしました。これで、これから先どうなっていくかはわかりませんが、まだまだ予断を許さない、少し安心するとまたもっと出て、そういうことの繰り返しになっていきますので、気を緩めないようにしっかりと感染対策をしていただきたいということでございます。

次に、教育長報告に入りたいと思います。

【主な教育長報告】

- 3月30日（水）全員協議会
- 3月31日（木）退職者教職員辞令交付式
- 3月31日（木）令和4年第2回尾鷲市議会臨時会
- 3月31日（木）市職員退職辞令交付式
- 4月 1日（金）新規採用教職員辞令交付式
- 4月 1日（金）市職員辞令交付式
- 4月 1日（金）校長会
- 4月 4日（月）認定こども園「ひのきっここども園」開校式
- 4月 5日（火）教頭会
- 4月 7日（木）尾鷲市奨学金貸与選考委員会
- 4月14日（木）行政常任委員会（給食センター進捗報告）
- 4月21日（木）教育長会
- 4月22日（金）全員協議会

教育長報告は以上でございますが、これについて何かございますか。

B委員：コロナで学校が休みになっているときも、スムーズにタブレットで子どもたちに勉強するように指導はできたんでしょうか。

事務局：休校中の指導については、尾鷲小学校に行って確認しましたが、端末が整備されていて、使いこなせる4～6年生については、オンライン授業を実施しました。低学年は端末操作もおぼつかないので、プリント学習で対応しました。

D委員：コロナの休校一週間と、2日間は昼までの授業だったと思うんですが、給食の仕入れなどはキャンセルできたんですか。それとも給食費が還付されるんですか。

教育長：そこまでの話にはいっていないんですが、キャンセルできた部分もあったということで、その辺は休校に入る前に栄養士の先生と、業者さんといろいろ話をさせていただいて、キャンセルできる部分についてはキャンセルしたと聞いております。ほかによろしかったでしょうか。なければ、報告事項、令和4年度教育推進の重点について、資料1をご覧ください。これは、令和4年度教育委員会として頑張っていこうということで、校長先生・教頭先生にお示しさせていただきました。そこに書いてあるとおり、教育ビジョンが令和4年度で後期5年間で終了となりますので、また新たな教育ビジョンの作成となっていて、今年1年かかって取り組んでいくんですが、最後の1年になりますので、教育ビジョンの振り返りも含めて、以下の取り組みをぜひお願いしたいということで挙げております。学校教育の充実の部分と幼児教育の部分と別れておりますが、学校教育につきましては、昨年度後半の中で何度も申し上げていたことですが、確かな学力の定着を図りたいということを1番に挙げております。学力の定着を図るためには、やはり先生方の指導力を向上させるのが第一に大きなことであります。それからもう一つは前も課題として申し上げましたが、子どもたちの家庭生活における時間の使い方の改善を図る必要があるのではないかと。そう考えた発端が学力調査の生徒質問紙、児童質問紙の中で、ゲーム・スマホに費やす時間が非常に多いという実態が見えてきたということでございます。多い子どもは3時間以上ゲーム・スマホ、そういったものに費やしている子どもが半数に近いというような状況が見えてきました。もちろん、自分でちゃんと自制ができてうまくコントロールできる子どももたくさんおります。半数近い子どもがなかなかコントロールできていないのではないかとということで、それは子どもにとっても大きな課題ではないのかということで考えまして、やはり我々としては調和のとれた時間の使い方をしてほしい、それが学習

の時間であるとか、家族との団らんの時間であるとか、それから自分
なりの余暇の時間であるとか、そういった時間配分をうまく考えなが
ら家族とも相談しながら、最終的には自分で律していけるような取り
組みを進めていきたいと考えています。これについては、3学期に少
し実験的に取り組んでもらって、アンケート調査もするんですが、や
はり子どもによって、一生懸命やってみようという子どもは大きな改
善も見られます。しかし、一方では、前にやった調査と、今回の調査
とそうそう変わらない部分もありますので、取り組みの仕方によって、
あるいは学校の子どもたちへの提案の仕方、指導の仕方ですら変わっ
ていくところもありますので、もう少し分析しながら、先生方とも協
議しながら進めていきたいと考えています。最後から三つ目、学校で
の授業と、家庭学習がしっかりかみ合うことが重要だと思うので、学
校の授業は授業、家庭学習は家庭学習で別のものではなくて、学校と
家庭が行き来できるような学習内容にしていくことが一番効果があ
るのかなと考えています。それと、一番最後ですが、PTA、地域関
係者、学校、教育委員会といったところで学力向上推進協議会を設
置いたしまして、なんとか一緒になって考えていって、子どもたちの状
況の改善を図っていききたいということでございます。2番目の豊かな
心と健やかな体の育成というところでは、キャリア教育というものを
推進していく必要があると思います。子ども自身が、自分は将来どう
していくのかという目標とか、大きく言えば夢とか、それは変わって
いってもかまわないと思いますが、その時点その時点で自分の目標な
り夢なりを持つ、そしてそれに向かって力を発揮していく、自己実現
を図っていくような、そういうことが大事で、そのために今をどう生
きていくか、動いていくかに気付いていただきたいと思います。Q－
U調査というのをやっているんですが、これは児童・生徒が学級の中
で自分はどんな位置にあるのか、その学級に満足しているのかしてい
ないのかといったことがこの調査でわかるんですね。それは先生方が
自分の学級について自分の学級は今どういう状態にあるのか、皆が満
足している状況なのか、皆がこの学級は良しとしていないのかという
ことがわかりますので、そして子ども一人ひとりの状況も掴めるので
大変有意義なテストだと思います。このQ－Uテストを大事にしながら、
学級づくりを考えていくようにしていきたいと思います。それから、
不登校・不登校傾向の子どもがいます。この子どもたちについても、
あおさぎ教室もございしますが、そこへ通える子は通っていただく、
そしてその中で自分で自分の生活を考えながら、そんなに長い時間で

はありませんが、自分自身で活動を進めていく。ただ、学校に行けない子どももおられます。家から出られない子どももいますので、そういう子どもにつきましては、学校あるいは先生、先生と子ども、先生と保護者、そういったつながりを切らすことのないように、なんとか粘り強く関係づくりを進めていただいて、少しでも一歩でも前に出られるような、あるいは学校復帰ができなくても、将来の社会復帰ができるような、そういった働きかけをしていったらいいと考えています。2枚目3番ですが、特別支援教育では子ども一人ひとりにいろんなニーズ・課題がございます。そういった中で、一人ひとりの個別指導計画を作りながら、きめ細やかな指導支援をお願いしております。それからパーソナルファイルというのがございますが、これは幼小中校で子どもの状態を記録しながら、継続的な指導になるような、一貫して使えるファイルを活用しております。これに成長の過程を丁寧に記録していただき、その子の成長を日々見ていく、そして引き継いでいくということをしていきたいと考えています。4番の家庭・地域の教育力の向上についてですが、先程とも関係がありますが、児童生徒の学習習慣や生活習慣の確立のために家庭での児童生徒への関わり方、学習へ取り組ませる方法、そういったものを学校と家庭が同一步調で歩んでもらいたいと述べております。学校運営協議会を作っている学校については、その機能を十分発揮していただいて、学校づくりを進めていただきたい。それから、地域の人材や、地域おこし協力隊などもみえますので、そういった方々を活用して、子どもたちが地域を学ぶ、あるいは生き方を学ぶということを進めていっていただきたい。そういったことをぜひ地域や保護者に発信もしていただきたい。その中で地域と学校がつながっていくということが大事ではないかということ述べています。それからICT教育の充実ですが、これについてはまだまだこれからの話になりますが、子どもたちが自分の考えをそういった道具を使いながら、表現できるとか、お互いがつながる中で学び合える、そういった授業になればよいと思いますし、調べ学習、問題解決そういったところではかなり効果的な道具ではないかと思います。例えば、宿題にしても、学校で学んだことを、先生がこのことについて調べてきなさい、次の時間で発表してもらおうということで、こういうのを使いながら子どもが調べる力をつけていけるし、いろんな活用方法があると思いますので、ぜひ有効活用していただきたいと思うんですが、先生方のリテラシーというか力量ですね、ICTに対する力量がやっぱりまちまちなところもございますので、学校の中に

は得意な方もみえますので、そういった方を中心に皆が力をつけていただければ有難いと考えています。教職員の働き方改革なんですが、教員の仕事自体がテレビ等でもかなりブラックであるというようなことが出ております。このことが影響しているのかどうかは分かりませんが、教員志望の方が全国的に減少しているので、昔と比べて競争率はかなり下がってきた、それが教師の指導力の低下につながるんじゃないかというようなことも新聞には書いてあるんですが、その中で一つは先生方の働き方・働く時間、これが今大きな課題になっていまして、特に中学校では部活動が間に入りますので、その分仕事の時間が増えていくことになります。今は月45時間、年間360時間を超えないようにということでやっておりまして、今はおおむねそれを超えることは減ってきております。月80時間を超えますと過重労働という言い方になりまして、心身共に疲労が出てくるのではないかとということで、健康管理をお願いしている医者さんと面談し、健康を確保することになるんですが、そういうところで国も県も働き方改革を推進していくとなっていますが、なかなか簡単には改善されにくい問題になります。県もスクールサポートスタッフといって印刷など事務的な仕事を担当してもらうような係の人を各学校に配置しています。それで少しは軽減になってありがたい話ですが、まだまだ十分ではないと考えています。それから教職員のモラルの向上についてもきちっと理解いただかないといけないと思います。やはり教職員の児童生徒に対するセクハラ等も新聞報道されておりますし、暴力問題もございます。一人ひとりの先生方にモラルを持っていただき、そういうことがないようにしていただきたい。県も国もそういったことに対する処分は非常に重いものになっていますので、場合によっては免許の更新ができないとか、二度と教壇に立てないようなことにもなりますので、学校全体で取り組んでいく必要があると思います。学校教育の最後に、防災教育なんですが、尾鷲市はかなり防災教育に力を入れてこれまで取り組んでいるので、子どもたちの反応は大変良いものがあって、万が一地震があった場合は自ら机にもぐり、尾鷲小学校であれば中村山に走るといった行動が身についていると考えていますので、かなり進んでいるんだと思います。学校にいるときはそれでいいとしても、家庭に帰ったときに果たしてそれがそういう行動になるのかということがあり、今後は家族ぐるみ・地域ぐるみの防災活動が大事になってくると考えています。一番下なんですが、尾鷲市教育委員会として学校安全総合支援事業がありまして、県の事業なんですが、学校安全推進

対策の構築ということで、尾鷲市をモデル地域として委託を受けています。各学校において防災減災教育を推進しながら児童生徒の意識の向上を図っていく、そして県の学校防災アドバイザーに学校へ来ていただいて防災教育の見直し、あるいは更なる推進に力を入れていきたいと思っています。幼児教育については、人間形成の基礎であるという点で、いろんな体験をし、いろんな人と交流するということで、幼児の考え方、行動というものが磨き上げられていくと考えています。そういった体験活動、交流活動、一人ひとりに先生方が触れ合っていて、子どもの可能性をしっかりと伸ばしてやっていただきたいと思っています。もう一つは保護者と、幼稚園の先生とのつながりを十分に深めていただいて、共に子どもを育てていくという視点の中で、幼稚園経営をやっていただければと思います。幼児教育の最後ですが、小学校への円滑な移行ということで、全ての子どもが必ず小学校に上がりますので、上がるまでに就学前教育の中で小学校に上がる前につけていただきたい力というものが要領の中に書いてあります。そういったことを中心にしながら十分に子どもたちをみていただいて、小学校に上げていただく。そのためには園児に小学校を見学してもらうとか、小学校の先生が幼稚園保育園に見学に行くとか、交流をしっかりとやっていくことで幼稚園と小学校、保育園と小学校のつながりのギャップが少しでも減っていくのではないかと考えておりますので、そういうことにも力を入れていきたいと考えております。このようなことを校長会でお示しさせていただきました。これについて何かございますか。

A委員：これは前のままですか。今年になって変更があったんですか。

教育長：タイトルはそのままですが、中身はかなり変わっています。

A委員：校長会は幼稚園の園長先生も出ていましたっけ。

教育長：第1回は入っていただいており、今後は必要に応じてと考えています。

A委員：ひのきっこ子ども園の園長は校長会には入っていないんですか。

教育長：入っていません。今後どうするか考えさせていただきたいと思います。ほかによろしいでしょうか。では、また読んでいただいて、変なところがあればご指摘ください。この後は審議事項になりまして、議会へ提案していくことになりますので、傍聴はここまでとさせていただきます。それでは、6の審議事項に入ります。(1) 令和4年第3回臨時会尾鷲市一般会計補正予算(第2号)(案)についてお願いします。

事務局：【資料説明】

教育長：この内容について、承認してよろしいですか。

【全員承認】

教育長：これは26日の議会で承認されれば動いていくということになりますので、予算につきましてはこれで終わりたいと思います。2つ目の学校運営協議会の指定と推薦委員についてお願いします。

事務局：【資料説明】

教育長：よろしいでしょうか。協議会自体設置するのが教育委員会になっていきますので、委員の人選については教育委員会が責任を持って選ぶことにしていますので、この学校からの推薦について良しとすることであれば教育委員会の方で委嘱又は任命をしていきたいと思いますが、今頂いているこの名簿について委員をしてもらうということではよろしいでしょうか。

【全員承認】

教育長：全員承認ということで、それではこちらのほうから委嘱又は任命をさせていただきます。ありがとうございます。これで審議事項は全て終わりました。その他、何かございますか。

C委員：尾鷲小学校は昨日学力調査したんやな。1週間休んで、月曜日にやって、大変やったと思う。だいたい前の年度の終わりくらいにちょっとしとくんやけどね。新学期になって入学式してすぐなんで難しかったやろなと。問題も見てみたけど、そんなに難しいことはなかったが、夏休みとかに分析もあるやろし、教科書と違ってこれ用の勉強をしないと、解き方をテクニックとして教えてやらないとあかんやろなと思うが、それが果たして思考力を鍛えることになるのか疑問に思うところもあるけどね。先生が持ち寄って問題の吟味や対策も出てくると思う。自分でやる勉強も学校の勉強もリンクしないといけないと思う。かけ離れたことをしても続かないし、その辺を先生がうまく引き出してやると、自分が家でした勉強が次の日に授業で役に立ったというのは大事だと思うんで、やる気にもつながるし。やる以上は、勝ち取っていくようにしていかないといけないと思うんで、先生らにも言ってくください。

教育長：学力調査は分析もされて、管内の子どもたちのよくできているところ、できていないところ、強み・弱みと言いますが、そういうのを明らかにしながら先生方が自分たちの教え方にどうそれを反映させていくかということが一番の問題だと思うんですね。今委員が言われたように問題の傾向が我々が勉強してきたものと違います。我々の時代

はあることを覚えてそれを書けばよかった。理科の問題を見たんですが、実験が中心で、実験をやって、子どもが仮説を立てて結果を出して、自分なりの考えをまとめていくという、実験のレポートですよ。そういうものを学校の中できちんとやられているかどうかによって結果が大きく変わってくると思うんですね。いろんな学校の教科の学習についても、そういうことが求められてきていて、子ども自身の思考力とか、推量とか、そういうものが大事にされていますので、昔の考えでいるとついていけないことがありますので、先生方にしっかり勉強していただきたいと思います。また結果が出ましたらご報告させていただきますので、よろしくお願いします。点数を競うのが目的ではなくて、ここは力が入って子どもたちが達成できている、ここは達成できていないので教え方も工夫しながら頑張っていこうという分析のために使うということも大きな柱ですので、その結果点数が上がったら結構なことだと思いますけど。その他、何かございませんか。

D委員：話が変わるんですが、感謝状をご検討いただきたいなと思って。3年前から、早田・三木浦・三木里方面から賀田小学校へ行くバスが、7時45分くらいに到着するんですが、学校の上まで行けないので下のほうに停まって、子どもたちは歩いて賀田小学校まで通うんですけど、毎朝バス停で雨の日も風の日も毎日バスを待ってくださって、賀田小学校の途中まで子どもたちを見送って見守ってくださる方がいるんですね。その方の活動が先日中日新聞に載っていて、そういう方に感謝状みたいなのをまたご検討いただけたらなと思って。もちろん賀田地区だけじゃなく尾鷲市内全体でも朝ボランティアで子どもたちの見守りをしていてくれる人はいると思うんですけど、その方に感謝状みたいなのをしていただけたらなと思って。お孫さんがいるわけでもないのに、統合してからいろんな地区から子どもが来てくれるということで、毎朝バスを待って人数確認して途中まで行ってくさって、すごいなと思って。ぜひご検討をしていただきたいなと思います。毎日立っているのも、なかなかできることじゃないと思うので。

A委員：毎日立っている人は尾鷲小校区にも何人もいますね。

B委員：CSの交通安全系のメンバーもいますね。

事務局：交通安全ボランティアの方ですね。

C委員：賀田の人はものすごい年配なんだけど、毎朝後ろについて歩いてくれる。その道は意外と車が通って、狭いところを飛ばしてくる車もあるので、大人が付いてくれると安心。急な坂なのに、よく歩いてくれるなと思うんで。

教育長：今委員が言われたように、他にもみえますので、かなりの人が上がってきたときどうするかという問題もあると思いますけども、また調べて、検討させていただきます。その他どうでしょうか。では、次回開催日について、事務局からご提案ありますか。

(日程調整)

事務局：5月は議会等の関係もございまして、16日(月)、20(金)、25(水)あたりでどうでしょうか。それでは、5月20日(金)の午前10時からということで、よろしくお願いします。

教育長：これで全ての議事を終えましたので、令和4年度第1回教育委員会を閉会します。どうもありがとうございました。

14時45分 閉会